

令和元年度かいぼり結果概要報告【小山田緑地：下池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 12月7日

【天 候】 曇り、雨

【生物調査参加者数】

ボランティア 10人・関係者約 20人

2. 結果概要

【水 質】 かいぼり直後及びかいぼり後のCOD、BOD、T-N、T-Pは減少しており、泥土の除去や池干しにより栄養塩が減少したと考えられます。SSはかいぼり直後及びかいぼり後ともに減少し、透視度も大幅に上昇していることから、池水の入替えや泥土の搬出により水中の懸濁物質が減少したと考えられます。

【水生生物】 重要種であるドジョウはかいぼり後も引き続き確認されています。一方で、外来種のアメリカザリガニが確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.7.30	R2.2.21	R2.8.6
天候		晴	晴	晴
気温	°C	27.5	13.0	28.5
水温	°C	27.2	9.5	25
透視度	cm	31	>50	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+271	+474	+374
pH(水素イオン指数)		7.1	7.8	7
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	10	3.6	2.7
BOD(生物学的酸素消費量)	mg/L	3.2	0.6	0.8
T-N(全窒素)	mg/L	0.80	0.46	0.66
T-P(全リン)	mg/L	0.065	0.018	0.02
DO(溶存酸素)	mg/L	8.1	10.7	4.3
SS(浮遊物質)	mg/L	12	4	6

捕獲した生物と個体数

和 名	令和元年		令和2年度	重要種		外来種 注3
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) 注1	東京都RDB (2013) 注2 北多摩	
	R1.7.22	R1.12.7	R2.7.26			
サカマキガイ	5					○
カワリヌマエビ属	6	106	12			○
アメリカザリガニ	109	160	31			○
モツゴ	27	635	1			
ドジョウ	12		8	NT		
ミナミメダカ	3	119		VU	CR+EN	

水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2019 ※2 レッドデータブック東京 2013
※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

